

環境新聞

2年1組
上田 澄

琵琶湖とは？

琵琶湖とは、どんなものなのか、少しくわしく紹介します。琵琶湖の面積は670km²、一番深いところの水深は104mもあります。琵琶湖の水量は275億トにもあり、それは、琵琶湖の水を利用する淀川流域の1450万人が一日に使う水の量の約11年分になります。さらに、琵琶湖は世界でも20しかない古代湖の一つです。ちなみに古代湖とは、10年以上の歴史をもち、固有種がいたりする湖のこと、いいます。琵琶湖は、もともと、三重県の辺りにありましたが、少しづつ形を変化させながら、今の位置まできました。みなさん、少しは琵琶湖についてくわしくなれたでしょうか？



琵琶湖の現状



琵琶湖とは、どんなものなのか、少しくわしく紹介します。琵琶湖の面積は670km²、一番深いところの水深は104mもあります。琵琶湖の水量は275億トにもあり、それは、琵琶湖の水を利用する淀川流域の1450万人が一日に使う水の量の約11年分になります。さらに、琵琶湖は世界でも20しかない古代湖の一つです。ちなみに古代湖とは、10年以上の歴史をもち、固有種がいたりする湖のこと、いいます。琵琶湖は、もともと、三重県の辺りにありましたが、少しづつ形を変化させながら、今の位置まできました。みなさん、少しは琵琶湖についてくわしくなれたでしょうか？



これから自分たちができること

大切なことがあると思います。それは、ポイ捨てをしないことです。もともと、ゴミがポイ捨てされていなければ、ゴミ拾いもしなくて良いし、琵琶湖が汚れることも少なくて落ちてしまったり、ゴミを捨てる気はなくても、落ちたゴミを捨てる必要は、ポイ捨てと同じです。ゴミは、自然だけでなく、人にも影響を与えます。少しづつの意識から琵琶湖を守りませんか？

まとめ

琵琶湖に行くと、考えたこと、することがあります。これは、誰かの問題ではなく、社会全体に対する問題です。一人の力では、変えることができないとしても、みんなが意識すること、良い方向へ変えていくことが、できると思います。大切なのは、社会全体が協力して、行動できるようにすること、だと思います。